

財政非常事態宣言

図書館中央分館廃止は上程阻止

市民泣かせの市長提案

全て可決

6億8300万円の負担増

主な市民負担強化 (3月議会・臨時会)				日本共産党	心政会⑧	みらい市民クラブ⑤	公明党②	翔政会②	長崎	岩月	生田
議決	内容	影響額 (円)	実施年月								
1	なし	高齢者、障がい者無料入浴券廃止	21,000,000	R 8.4月～							
2	なし	給食費引上げ (中学、幼保)	40,000,000	R 8.4月～							
3	なし	私立高校授業料補助廃止	3,000,000	R 8.4月～							
4	なし	高齢者福祉 (紙おむつ、理容、老人クラブ、まちかどサロンなど)	15,000,000	R 8.4月～							
5	なし	新築住宅補助廃止	12,000,000	R 8.4月～							
6	なし	償却資産補助廃止	12,000,000	R 8.4月～							
7	なし	各種団体補助削減	3,000,000	R 8.4月～							
8	有	児童クラブ利用料引上げ	16,000,000	R 8.7月～	×	○	○	×	×	×	○
9	有	健診負担金引上げ	2,000,000	R 9.4月～	×	○	○	×	×	×	○
10	なし	社会教育関係団体減免制度廃止	24,000,000	R 9.4月～							
11	有	可燃ごみ袋有料化	20,000,000	R 9.4月～	×	○	○	○	×	×	○
12	有	都市計画税025→0.3%に引上げ	250,000,000	R 9.4月～	×	○	○	○	○	×	○
13	有	使用料手数料引上げ	15,000,000	R 9.4月～	×	○	○	×	×	×	○
14	有	水道料金引上げ (6月議会予定)	250,000,000	R9.2月～予							
	有	R7補正予算一般会計 (学校トイレ洋式化凍結等)		R 8.4月～	×	○	○	○	○	×	○
	有	R8 予算一般会計 (財政非常事態で削減ばかり)		R 8.4月～	×	○	○	×	×	×	○
		合計	683,000,000								



くらしと経済を「わす

昨年9月24日に小池市長が「財政非常事態宣言」を一時的に発表。12月議会では4議案が否決されました。小池市長は、反省もなく実施時期を遅らせるなどの変更をしただけで、同じ議案を3月議会に上程しました。連日の傍聴者は約140名と関心も広がりました。使用料、手数料引上げは、山口(共)長崎、森下、岩月各議員が反対討論。小林晃三、石川輝彦議員が賛成討論を行い可決。給食費引上げ等を含む予算には山口、森下議員が反対討論。小林晃三、鈴木みのり議員が賛成討論し可決となりました。

年15万円の紙オムツまでカット

中学、保育園、幼稚園の給食費引上げ、各種補助、高齢者福祉は紙オムツ補助の介護度4、5の在宅介護者に月6,250円の補助が250円削減で6,000円になります。山口はるみ議員は「わずか年15万円なのに削減するとは血も涙もない」と指摘。訪問理容194万円、敬老会廃止748万円、まちかどサロン238万円、消火器電磁調理器支給廃止18万8千円、住宅改修30万円を半額94万5千円など年額計1,500万円の予算削減を進める小池市長です。

都市計画税 国保税引上げも

2億5千万円増の都市計画税引上げ、国保税引上げは、新規の「子ども・子育て支援納付金」合わせて約1億円と、イラン攻撃の影響でさらに物価高騰に苦しむ市民のくらしを直撃します。来年2月からの水道料金引上げも含め約6億8300万円の負担増となります。

法人市民税率3.4%で6億円確保を

日本共産党は、全国8割の市で行なっている法人市民税8.4%にすれば、今年6億円の財源を確保できると財源を示し、とんでもない負担強化と「財政非常事態宣言」の撤回を求めました。

市民の運動で 図書館廃止にマッタ!!

図書館中部分館廃止は友の会、協議会の関係者から守るべきと声があがり、議案上程を見送りました。しかし市長は、9月に「公共施設の見直し」を行なうと言っています。「公共をとりもどせ」の声を広げ、「富める者から税を」の声が世界に広がっています。碧南市の地方自治と市民のくらしと命を守れ、富める大企業から税をの声を運動を広げましょう。

市民病院改革は地域ニーズ第一に

小池市長は、市民病院への法定外繰入金8億円をカット。その穴埋めに「分娩停止、精神科、血液内科停止小児科入院停止、日当直医2名→1名などの削減を計画。「市内にない精神科外来を」「救急医療が不安」の声があがっています。国の医療改悪を押し返し、地域ニーズに応える市民病院こそ存続のカギです。

他にも5年連続国保税引上げ

子育て支援金の追加も
18歳以上の全ての国民に「子ども・子育て支援納付金」が上乗せ。国保税は5年連続引上げ。合わせて約1億円。モデル世帯で、年/34万円になります。

一般質問から

山口はるみ議員

1、財政非常事態宣言の撤回を

日本共産党山口はるみ議員は「市民のための財源はある」と市長に法人市民税率を6%←8・4%に「Tox the Rich」タックスザリッチ富める大企業から税金を」と求めました。部長はペネルティなし、不交付団体でも実施していると答弁。小池市長は一言も答えません。年金月額8万円以下は3,933名となつています。世代間の対立、市民と市職員との対立を呼び起こし未来が開けない。財源確保と「宣言」撤回を強く求めました。

2 市民病院の活性化について

令和9年度目標の「経営強化プラン」の改革の状況を「緊急財政対策」に切り替え、市長の法定外繰入金8億円の削減への対応を問いました。総合内科の新設、10対1の看護体制等を示したものの、地域ニーズの精神科の外来、



碧南市平和都市宣言記



広島 平和首長会議から 被爆二世アオギリの植樹式

4月11日明石公園で、平和祈念祭が開かれ、平和首長会議から送られた、被爆二世アオギリの植樹式も同時に行いました。日本共産党は、2014年12月10日/平和首長会議への参加。2025年6月17日碧南市平和都市宣言。2025年8月9日長崎平和式典への参加（副市長と部長）と、議会で繰り返し核兵器廃止のためのアクションを求めてきました。被爆二世アオギリはまだ20cm高さの小さな苗木ですが今後大きく成長し、広島、長崎の原爆投下と再び許さぬ決意を後世に伝えるものです。核兵器廃絶とイラン攻撃停止を、心から願います。



平和を守るため いま声を 4/8 国会3万人 全国137カ所で呼応

「平和憲法を守るための緊急アクション」が8日夜、行われ3万人（主催者発表）が国会議事堂を取り囲むようにして「平和をつくろう」「捨てよう捨てよう武器を捨てろ」「守ろう守ろう憲法守ろう」と声をあげました。主催は、「WE WANT OUR FUTURE」と憲法9条を壊すな！実行委員会です。国会前行動に呼応する取り組みが47都道府県の137カ所で実施されました。



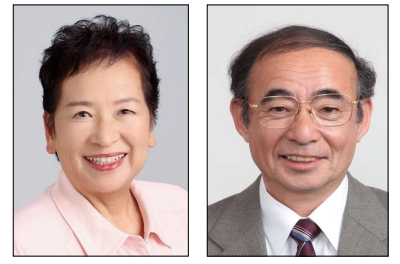
(写真)「憲法まもる」「さあ行こう平和の道を」とコールする人たち=8日、国会正門前

高市早苗総理は憲法守れ トランプにイラン攻撃停止を求めよ

戦争放棄を掲げた平和憲法をもっと守らなければいけない高市早苗総理は「憲法改悪」を掲げています。目の前のイラン攻撃停止の声もアメリカに言えませぬ。日本の自衛隊出動ももくろんでいます。「だれひとり戦争に行かせない」の声が全国で若者を中心に広がっています。今こそ町のすみずみで「戦争反対」の声を上げ運動を広げましょう。

大好評 申込はここから
電子版しんぶん赤旗
日曜版/月 990円
日刊紙/月3, 407円

日本共産党碧南市議団



市議会議員 山口はるみ 電話 42-8940 三度山町 2-70-4
市議会議員 磯貝明彦 電話 48-2718 若松町 3-253



碧南市議員団のホームページをご覧ください



緊急体制の後退では地域ニーズから、離れ増収がむづかしいのではと指摘しました。

3 公共施設 子どもの権利擁護 環境施策について

市民の税金でつくり設置管理条例で公共施設の適切な医師管理は行政の責務。図書館の存続し責務をはたすべきと求めました。「子ども計画」がないのは近隣では碧南市のみ。市は策定の時期も示せませんでした。

ごみ焼却場は、衣浦衛生組合議会でも山口はるみ議員が質問し、専門家による検討会が終了し「公的責任、広域化からの自立、産廃焼却場批判」示された。2号地多目的グラウンドの売買価格が2倍増の22億円と示された。原稿の場所コンパクト、シンプルな計画をと、求めました。

現在のごみ焼却場改修計画

2026年度	1億3844万円
2027年度	22億5181万円
2028年度	15億5808万円
合計	39億4834万円

その後7年間使用する。